

### 第2期港南区地域福祉保健計画 地区別計画中間振り返り特集

第二弾!

#### 計画の後半に向けた中間振り返りを行いました

地域の活動の振り返りは、日頃の会議や懇談会などを通して、地域の中で日々行われています。平成25年度は、第2期港南区地域福祉保健計画の中間年ということで改めて場を設け、これまで取り組んできた様々な活動の振り返りが行われました。今回は15地区のうち、港南台地区、永野地区、日野第一地区、日下地区、ひざり地区、日野南地区、上大岡地区、笹下地区の8つの地区の振り返りの様子や、参加された方々の感想などを紹介します。



#### 心かよわせ 響きあう街港南台 港南台地区

港南台地区では、「ふれあう・助けあう・参加するまち」を目指して、「高齢者」「防災」「こども」などをテーマに毎年イベントを行ってきました。港南台地区には地域の活動の拠点が複数あり、イベントを福祉施設などで行うことで地域の関心を集める工夫をしています。今回の振り返りは、地域支えあいネットワーク連絡会の場で、活動発表という形で行われました。子育て連絡会とシルバークラブのこれまでの取り組みの発表や、その後の意見交換などを通して、様々な活動から地域のつながりが生まれたことを再確認できたようです。



##### 参加者の声

- 担い手の確保がこれからの課題だと思いました。
- 活動の様子を改めて知ることができました。

スクリーンなどを使用している活動発表の様子。

#### くらしをじぶんたちでらくにする 永野 永野地区



永野地区は、その地形をなぞるとクジラの形に見えることから、地域福祉保健計画に「くじら計画」という愛称をつけました。推進3年目にあたり中間振り返りをしたことで、現在行っている多くの活動は長年継続されており、それがきちんと地区別計画の目標に沿ったものであることが確認できました。

今後2~3年で計画実現させたいものの中には、ほかの地区や団体などと、より一層のつながりや結束力を強めていかなければならないものもあります。これからも「くらしをじぶんたちでらくにする 永野」をスローガンに進めていこうと、参加された皆さんで共有できたようです。



##### 参加者の声

- 活動継続のためには、内容を充実させていかなければと感じました。
- 子どもが育つ環境について興味を持つ親が増えてきたと思います。

振り返ったことをボードに記入し整理します。

#### 日野第一「ふれあい ささえあいのまち」をめざして 日野第一地区



振り返りでは、いざというときのための顔の見える関係づくりの大切さについて話題に上がり、フェスタや七夕祭りなど、多世代で取り組める行事での顔合わせや交流が災害時の助け合いにつながっていくと再確認しました。また、振り返りに参加された地域の皆さんは、これまでの活動を思い返すことで、各々の取り組みが充実してきていることを実感したようです。

日野第一地区は、ひとつの地区の中でも高齢者が多かったり、子育て世代が多かったりと、地域によって住んでいる人の年代が様々なことが特徴の地区です。高齢者の介護予防活動や見守り活動、子育てサロンなどの子育て支援のほか、世代を超えた交流活動を行ってきました。



地区別計画の資料を机上に振り返りを行いました。



##### 参加者の声

- 地域の課題を確認するきっかけになりました。
- 地域で相互理解を深め、役割分担していくことが大切だと思います。

#### \*日下地区地域福祉保健計画\* みんなでつくろう!元気なまち 日下 日下地区



活動の振り返りを行っている地域づくり運営協議会の委員の方や各自自治会町内会会長、活動団体の方など27名が参加し、日々の取り組みの振り返りや意見交換を行いました。

話し合いを通して、若い世代が地域で活躍するための工夫などを確認し、これからの課題や、これまで継続できたこと、充実してきたこと、効果があったことなどを共有できたようです。

日下地区では、若い世代のボランティアグループが組織されたり、健康づくりのための体操教室や高齢者給食会が開催されたりと、地域での様々な活動が活発に行われてきました。今回の振り返りには、地域の会議で毎年



グループに分かれて意見交換をしました。



##### 参加者の声

- さらなる若い方の活用が重要だと感じました。
- 活動を継続する難しさを実感しました。

#### わが街ひざり・いきいき幸せプラン ひざり地区



にのぼり旗を立てあいさつを行う「あいさつ運動」には、平成24年度の1年間で、延べ250人余りが参加しました。

今回、中間振り返りを行い、「わが街ひざり・いきいき幸せプラン」の推進を参加者の皆さんで再確認したことで、これまで行ってきた活動を継続発展させていくには、新しい人の参入しやすい雰囲気をつくるのが課題であると改めて共有できたようです。

ひざり地区は、地域福祉保健計画の策定以前から、大人も子どもも「この街の安心・安全をどう考えるか」に関心をもち、「お互い様助け合いの気風を広めるために何をすべきか」を話し合い、活動を行ってきた地区です。「明日を考える会」が実施した、交差点や小学校の校門前



##### 参加者の声

振り返りをして、今までとは違った視点でこれまでの活動を捉えることができました。

これまでの活動を再確認し、熱心に振り返りを行いました。